

帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科 2025年度 教員資格及び教育内容等の自己評価書

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学科等の名称	専任教員数									非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	学科長	教授 (学科長を除く)	准教授	講師	助教	計	基準数	うち言語聴覚士数	助手			
健康メディカル学部 言語聴覚学科	1人	3人	3人	3人	0人	10人	8人	9人	0人	14人	15.7人	
計	1人	3人	3人	3人	0人	10人	8人	9人	0人	14人	15.7人	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	言語聴覚士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	言語聴覚士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	言語聴覚士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成所指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成所指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成所指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 2-1】 養成所指導ガイドラインとの連動状況

● 2025 年度以降入学生カリキュラム（新カリキュラム）

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
基礎 分野	言語聴覚療法の基盤	フレッシュセミナーⅠA	15	原田 円 講師 重森 知奈 講師 山本 徹 准教授	専任
		フレッシュセミナーⅠB	15	野原 信 准教授 重森 知奈 講師 山本 徹 准教授	専任
		フレッシュセミナーⅡA	15	原田 円 講師 廣瀬 綾奈 講師	専任
		フレッシュセミナーⅡB	15	廣瀬 綾奈 講師 山本 徹 准教授	専任
		アドバンスセミナーⅠA	15	野原 信 准教授 原田 円 講師	専任
		アドバンスセミナーⅠB	15	原田 円 講師 山本 徹 准教授	専任
		アドバンスセミナーⅡA	集中	佐藤 亜紀子 准教授 相馬 有里 教授	専任
		アドバンスセミナーⅡB	集中	植田 恵 教授 相馬 有里 教授	専任
	社会の理解	現代英語ⅠA	15	青山 洋子 非常勤講師 パイアシユミット 順子 講師 小椋 真由美 講師	非常勤 兼任
		現代英語ⅠB	15	青山 洋子 非常勤講師 パイアシユミット 順子 講師 小椋 真由美 講師	非常勤 兼任
	科学的思考の基礎	情報リテラシー演習・DS 概論	30	高野 文之 講師 福井 琢也 非常勤講師	兼任 非常勤
	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解 言語聴覚療法の基盤	TOEIC 英語	15	パイアシユミット 順子 講師	兼任
		社会学	15	小椋 真由美 講師	兼任
		暮らしと法律	15	大村 浩靖 教授	兼任
		経営・経済学	15	阿部 康 教授	兼任
		簿記学	15	諸藤 加寿代 講師	兼任
	社会の理解	社会保障	15	上野 治香 准教授	兼任
	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解 言語聴覚療法の基盤	キャリアプラン	15	瀬戸山 聡子 教授	兼任
		教育原理	15	牛込 彰彦 教授	兼任
		教育方法・ICT 活用論	15	景山 剛 准教授 芳野 純 准教授	兼任
		医療の歴史	15	藤田 尚 教授	兼任
	人間と生活	こころと体の健康	15	盛田 路子 准教授	兼任
	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解 言語聴覚療法の基盤	人間関係論	15	楠瀬 悠 准教授 森島 遼 講師	兼任
		異文化理解	15	水澤 純人 講師	兼任
		ホリデー留学	集中	佐々木 良壽 教授	兼任
		国際リハビリテーション	15	知脇 希 准教授 栗原 良子 講師 玉利 光太郎 教授 植田 恵 教授	兼任 専任
	社会の理解	統計基礎	15	小林 領 准教授	兼任
	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解 言語聴覚療法の基盤	自然環境と防災	15	小森 次郎 教授	兼任
		レクリエーション論	15	小安 雄久 教授	兼任
		レクリエーション実技Ⅰ	15	清水 貴司 講師	兼任
		レクリエーション実技Ⅱ	15	清水 貴司 講師	兼任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
基礎 分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解 言語聴覚法の基盤	ボランティア論	15	増田 康弘 講師 石川 由美 准教授	兼任
		SDGs 概論	15	小森 次郎 教授 新村 恵美 教授 大塚 淳子 教授 田中 良広 教授 荘島 幸子 准教授 上野 治香 准教授 庄司 一也 准教授 小室 譲 講師 鈴木 一行 教授 小原 道子 教授 松代 真琳 講師 田澤 茂之 教授	兼任
		SDGs 各論 A	集中	小森 次郎 教授 上野 治香 准教授 松代 真琳 講師	兼任
		SDGs 各論 B	集中	大塚 淳子 教授 田澤 茂之 教授 荘島 幸子 准教授	兼任
		SDGs 各論 C	集中	新村 恵美 教授 小室 譲 講師 庄司 一也 准教授	兼任
		SDGs 演習	集中	新村 恵美 教授 小森 次郎 教授	兼任
専門 基礎 分野	人体のしくみ 疫病と治療	人体の構造・機能Ⅰ	15	加藤 昌義 教授	兼任
		人体の構造・機能Ⅱ	8	伊藤 健 客員講師 角田 晃一 非常勤講師	非常勤
		人体の構造・機能Ⅲ	8	永井 知代子 教授	専任
		臨床医学 (内科系)	15	永井 知代子 教授	専任
		臨床医学 (神経系)	15	次年度以降開講	—
		臨床医学 (耳鼻咽喉系)	15	次年度以降開講	—
		リハビリテーション概論	8	永井 知代子 教授	専任
		リハビリテーションと形成外科疾患	8	次年度以降開講	—
	心の働き	臨床心理学	15	森島 遼 講師	兼任
		認知・学習心理学	15	楠瀬 悠 准教授	兼任
		生涯発達心理学	15	百瀬 良 講師	兼任
		心理測定法	8	荘島 幸子 准教授	兼任
	言語とコミュニケーション	言語とコミュニケーション	15	次年度以降開講	—
		音声とコミュニケーション	15	清宮 貴雅 非常勤講師	非常勤
		音の物理とコミュニケーションⅠ	8	伊藤 雅浩 講師	兼任
		音の物理とコミュニケーションⅡ	8	次年度以降開講	—
		言語とコミュニケーションの発達	15	重森 知奈 講師	専任
	言語コミュニケーション演習	15	佐藤 亜紀子 准教授 山本 徹 准教授	専任	
	人体のしくみ・疫病と治療、 心の働き、言語とコミュニケーション、 社会保障・教育とリハビリテーション	リハビリテーション工学	15	徳田 良英 教授 樋口 正勝 教授 飯田 修平 准教授 黒田 生子 教授	兼任 専任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員		
				氏名 職名	専任・兼任	
専門 基礎 分野	人体のしくみ・疫病と治療	リハビリテーションと精神疾患	8	安藤 義将 客員教授	非常勤	
	社会保障・教育とリハビリテーション	社会福祉・学校教育制度	8	次年度以降開講	—	
	人体のしくみ・疫病と治療	画像評価学	8	次年度以降開講	—	
専門 分野	地域言語聴覚療法学	地域言語聴覚療法学	15	次年度以降開講	—	
	言語聴覚障害総論	言語聴覚障害概論	15	黒田 生子 教授	専任	
	失語・高次脳機能障害学	失語症・高次脳機能障害Ⅰ	失語症・高次脳機能障害Ⅰ	15	原田 円 講師	専任
		失語症・高次脳機能障害Ⅱ	失語症・高次脳機能障害Ⅱ	15	植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
		失語症・高次脳機能障害Ⅲ	失語症・高次脳機能障害Ⅲ	15	植田 恵 教授	専任
		失語症・高次脳機能障害Ⅳ	失語症・高次脳機能障害Ⅳ	15	植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
		失語症・高次脳機能障害演習	失語症・高次脳機能障害演習	15	植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
		失語症・高次脳機能障害実習	失語症・高次脳機能障害実習	30	植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
	発声発語・摂食嚥下障害学	摂食嚥下障害Ⅰ	摂食嚥下障害Ⅰ	15	相馬 有里 教授	専任
		摂食嚥下障害Ⅱ	摂食嚥下障害Ⅱ	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		摂食嚥下障害演習	摂食嚥下障害演習	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		発声発語障害Ⅰ	発声発語障害Ⅰ	15	佐藤 亜紀子 准教授	専任
		発声発語障害Ⅱ	発声発語障害Ⅱ	15	山本 徹 准教授	専任
		発声発語障害Ⅲ	発声発語障害Ⅲ	15	佐藤 亜紀子 准教授 重森 知奈 講師	専任
		発声発語障害Ⅳ	発声発語障害Ⅳ	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		発声発語障害演習Ⅰ	発声発語障害演習Ⅰ	15	佐藤 亜紀子 准教授 重森 知奈 講師	専任
	発声発語障害演習Ⅱ	発声発語障害演習Ⅱ	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任	
	言語発達障害学	言語発達障害Ⅰ	言語発達障害Ⅰ	15	廣瀬 綾奈 講師	専任
		言語発達障害Ⅱ	言語発達障害Ⅱ	15	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
		言語発達障害Ⅲ	言語発達障害Ⅲ	15	廣瀬 綾奈 講師	専任
		言語発達障害Ⅳ	言語発達障害Ⅳ	15	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
		重度コミュニケーション障害	重度コミュニケーション障害	8	野原 信 准教授	専任
		言語発達障害演習	言語発達障害演習	15	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
		言語発達障害実習	言語発達障害実習	30	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
	聴覚障害学	聴覚障害Ⅰ	聴覚障害Ⅰ	15	野原 信 准教授	専任
		聴覚障害Ⅱ	聴覚障害Ⅱ	15	黒田 生子 教授 野原 信 准教授	専任
		聴覚障害Ⅲ	聴覚障害Ⅲ	15	黒田 生子 教授	専任
聴覚障害Ⅳ		聴覚障害Ⅳ	15	黒田 生子 教授 野原 信 准教授	専任	
聴覚障害演習		聴覚障害演習	15	黒田 生子 教授 野原 信 准教授	専任	
聴覚障害実習		聴覚障害実習	30	黒田 生子 教授 野原 信 准教授	専任	
発声発語・摂食嚥下障害学	流暢性障害	15	廣瀬 綾奈 講師	専任		

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
専門 分野	言語聴覚障害総論	言語聴覚障害臨床概論	15	野原 信 准教授 原田 円 講師	専任
		言語聴覚障害臨床演習	15	佐藤 亜紀子 准教授 原田 円 講師	専任
	言語聴覚療法管理学	言語聴覚療法管理学	15	次年度以降開講	—
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	集中	次年度以降開講	—
		臨床実習Ⅱ	集中	次年度以降開講	—
		臨床実習Ⅲ	集中	次年度以降開講	—
		臨床実習Ⅳ	集中	次年度以降開講	—
		臨床実習総論	集中	次年度以降開講	—
	地域言語聴覚療法学 言語聴覚障害総論 失語・高次脳機能障害学 言語発達障害学 発声発語・摂食嚥下障害学 聴覚障害学 言語聴覚療法管理学 臨床実習	言語聴覚研究Ⅰ演習	30	佐藤 亜紀子 准教授 相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		言語聴覚研究Ⅱ演習	30	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師 野原 信 准教授	専任
		言語聴覚研究Ⅲ演習	30	黒田 生子 教授 植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
		国際言語聴覚療法研修	集中	非開講	—
		言語聴覚障害研究法	8	次年度以降開講	—
		言語聴覚障害総論	特別総合演習	30	野原 信 准教授 相馬 有里 教授 佐藤 亜紀子 准教授 山本 徹 准教授 廣瀬 綾奈 講師 原田 円 講師 重森 知奈 講師
	地域言語聴覚療法学 言語聴覚障害総論 失語・高次脳機能障害学 言語発達障害学 発声発語・摂食嚥下障害学 聴覚障害学 言語聴覚療法管理学 臨床実習	多職種連携論	15	芳野 純 准教授 下岡 隆之 准教授 高橋 寛子 准教授 鶴木 恵子 教授 原田 円 講師	兼任 専任
		卒業研究	集中	黒田 生子 教授 相馬 有里 教授 植田 恵 教授 永井 知代子 教授 佐藤 亜紀子 准教授 山本 徹 准教授 野原 信 准教授 廣瀬 綾奈 講師 原田 円 講師 重森 知奈 講師	専任

● 2024年度以前入学生カリキュラム（旧カリキュラム）

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・ 兼任
基礎 分野	人文科学二科目	フレッシュセミナーⅠA	15	原田 円 講師 重森 知奈 講師 山本 徹 准教授	専任
		フレッシュセミナーⅠB	15	野原 信 准教授 重森 知奈 講師 山本 徹 准教授	専任
		フレッシュセミナーⅡA	15	原田 円 講師 廣瀬 綾奈 講師	専任
		フレッシュセミナーⅡB	15	廣瀬 綾奈 講師 山本 徹 准教授	専任
		アドバンスセミナーⅠA	15	野原 信 准教授 原田 円 講師	専任
		アドバンスセミナーⅠB	15	原田 円 講師 山本 徹 准教授	専任
		アドバンスセミナーⅡA	15	佐藤 亜紀子 准教授 相馬 有里 教授	専任
		アドバンスセミナーⅡB	15	植田 恵 教授 相馬 有里 教授	専任
	外国語	現代英語ⅠA	15	青山 洋子 非常勤講師 パイアシュミット 順子 講師 小椋 真由美 講師	非常勤 兼任
		現代英語ⅠB	15	青山 洋子 非常勤講師 パイアシュミット 順子 講師 小椋 真由美 講師	非常勤 兼任
	自然科学二科目	コンピュータ演習	30	高野 文之 講師 福井 琢也 非常勤講師	兼任 非常勤
	外国語	TOEIC 英語	15	パイアシュミット 順子 講師	兼任
	人文科学二科目	読書ゼミナール	15	非開講	—
	社会科学二科目	社会学	15	小椋 真由美 講師	兼任
		暮らしと法律	15	大村 浩靖 教授	兼任
		経営・経済学	15	阿部 廉 教授	兼任
		簿記学	15	諸藤 加寿代 講師	兼任
		社会保障	15	五反分 正彦 客員教授	非常勤
		キャリアプラン	15	瀬戸山 聡子 教授	兼任
	人文科学二科目	教育原理	15	牛込 彰彦 教授	兼任
		教育方法・技術論	15	景山 剛 准教授 芳野 純 准教授	兼任
	社会科学二科目	医療の歴史	15	藤田 尚 教授	兼任
	保健体育	こころと体の健康	15	盛田 路子 准教授	兼任
	社会科学二科目	人間関係論	15	楠瀬 悠 准教授 森島 遼 講師	兼任
		外国語	異文化理解	15	水澤 純人 講師
	ホリデー留学		集中	佐々木 良壽 教授	兼任
	社会科学二科目	国際リハビリテーション	15	知脇 希 准教授 栗原 良子 講師 玉利 光太郎 教授 植田 恵 教授	兼任
	自然科学二科目	統計基礎	15	小林 領 准教授	兼任
		自然環境と防災	15	小森 次郎 教授	兼任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
基礎 分野	保健体育	レクリエーション論	15	小安 雄久 教授	兼任
		レクリエーション実技Ⅰ	15	清水 貴司 講師	兼任
		レクリエーション実技Ⅱ	15	清水 貴司 講師	兼任
	社会科学二科目	ボランティア論	15	増田 康弘 講師 石川 由美 准教授	兼任
	人文科学二科目 社会科学二科目 外国語 保健体育	SDG s 概論	15	小森 次郎 教授 荘島 幸子 准教授 大塚 淳子 教授 新村 恵美 教授 上野 治香 准教授 小室 讓 講師 小原 道子 教授 鈴木 一行 教授 田澤 茂之 教授 松代 真琳 講師	兼任
		SDG s 各論A	15	小森 次郎 教授 上野 治香 准教授 松代 真琳 講師	兼任
		SDG s 各論B	15	荘島 幸子 准教授 大塚 淳子 教授 田澤 茂之 教授	専任 兼任
		SDG s 各論C	15	新村 恵美 教授 庄司 一也 准教授 小室 讓 講師	兼任
		SDG s 演習	15	小森 次郎 教授 新村 恵美 教授	兼任
	専門 基礎 分野	基礎医学	基礎医学Ⅰ	8	加藤 昌義 教授
基礎医学Ⅱ			15	非開講	—
臨床医学		内科学	15	永井 知代子 教授	専任
		臨床神経学	15	永井 知代子 教授	専任
		耳鼻咽喉科学	15	安井 拓也 客員講師	非常勤
社会福祉・教育		リハビリテーション学	15	非開講	—
臨床医学		形成外科学	8	高木 信介 非常勤講師 冨塚 陽介 非常勤講師 辰田 紗世 非常勤講師 小島 康孝 非常勤講師	非常勤
臨床歯科医学		臨床歯科学	8	市ノ川 義美 客員教授	非常勤
音声・言語・聴覚医学		聴覚・音声医学	15	伊藤 健 客員講師 角田 晃一 非常勤講師	非常勤
		言語医学	8	永井 知代子 教授	専任
心理学		臨床心理学	15	森島 遼 講師	専任
		認知・学習心理学	15	楠瀬 悠 准教授	専任
		生涯発達心理学	15	百瀬 良 講師	専任
		心理測定法	8	荘島 幸子 准教授	専任
言語学		言語学	15	後藤 雄介 非常勤講師	非常勤
音声学	音声学	15	清宮 貴雅 非常勤講師	非常勤	
音響学	音響学	15	清宮 貴雅 非常勤講師	非常勤	
言語発達学	言語発達学	15	重森 知奈 講師	専任	

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
専門基礎分野	選択必修分野	リハビリテーション工学	15	徳田 良英 教授 樋口 正勝 教授 飯田 修平 准教授 黒田 生子 教授	兼任 専任
	臨床医学	精神医学	15	安藤 義将 客員教授	非常勤
	社会福祉・教育	関係法規	8	田澤 茂之 教授	兼任
	選択必修分野	リハビリテーション画像診断学	8	永井 知代子 教授	専任
専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害概論	15	黒田 生子 教授	専任
	失語・高次脳機能障害学	失語症・高次脳機能障害Ⅰ	15	原田 円 講師	専任
		失語症・高次脳機能障害Ⅱ	15	植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
		失語症・高次脳機能障害Ⅲ	15	植田 恵 教授	専任
		失語症・高次脳機能障害Ⅳ	15	植田 恵 教授	専任
		失語症・高次脳機能障害演習	15	植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
		失語症・高次脳機能障害実習	30	植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
	発声発語・摂食嚥下障害学	摂食嚥下障害Ⅰ	15	相馬 有里 教授	専任
		摂食嚥下障害Ⅱ	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		摂食嚥下障害演習	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		発声発語障害Ⅰ	15	佐藤 亜紀子 准教授	専任
		発声発語障害Ⅱ	15	山本 徹 准教授	専任
		発声発語障害Ⅲ	15	佐藤 亜紀子 准教授 重森 知奈 講師	専任
		発声発語障害Ⅳ	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		発声発語障害演習Ⅰ	15	佐藤 亜紀子 准教授 重森 知奈 講師	専任
		発声発語障害演習Ⅱ	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		発声発語障害演習Ⅲ	15	佐藤 亜紀子 准教授 重森 知奈 講師	専任
	発声発語障害演習Ⅳ	15	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任	
	言語発達障害学	言語発達障害Ⅰ	15	廣瀬 綾奈 講師	専任
		言語発達障害Ⅱ	15	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
		言語発達障害Ⅲ	15	廣瀬 綾奈 講師	専任
		言語発達障害Ⅳ	15	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
	選択必修分野	重度コミュニケーション障害	15	野原 信 准教授	専任
	言語発達障害学	言語発達障害演習	15	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
		言語発達障害実習	30	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
専門 分野	聴覚障害学	聴覚障害Ⅰ	15	野原 信 准教授	専任
		聴覚障害Ⅱ	15	黒田 生子 教授 野原 信 准教授	専任
		聴覚障害Ⅲ	15	黒田 生子 教授	専任
		聴覚障害Ⅳ	15	黒田 生子 教授 野原 信 准教授	専任
		聴覚障害演習	15	黒田 生子 教授 野原 信 准教授	専任
		聴覚障害実習	30	黒田 生子 教授 野原 信 准教授	専任
	発声発語・摂食嚥下障害学	流暢性障害	集中	廣瀬 綾奈 講師	専任
	選択必修分野	言語聴覚障害評価指導	15	植田 恵 教授 廣瀬 綾奈 講師	専任
		言語聴覚障害総論	15	植田 恵 教授 佐藤 亜紀子 准教授	専任
	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害臨床演習	15	山本 徹 准教授	専任
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	集中	原田 円 講師 黒田 生子 教授 相馬 有里 教授 植田 恵 教授 佐藤 亜紀子 准教授 山本 徹 准教授 野原 信 准教授 廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
		臨床実習Ⅱ	集中	原田 円 講師 黒田 生子 教授 相馬 有里 教授 植田 恵 教授 佐藤 亜紀子 准教授 山本 徹 准教授 野原 信 准教授 廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任
	選択必修分野	言語聴覚研究Ⅰ演習	30	佐藤 亜紀子 准教授 相馬 有里 教授 山本 徹 准教授	専任
		言語聴覚研究Ⅱ演習	30	廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師 野原 信 准教授	専任
		言語聴覚研究Ⅲ演習	30	黒田 生子 教授 植田 恵 教授 原田 円 講師	専任
		国際言語聴覚療法研修	集中	非開講	—
	言語聴覚障害学総論	特別総合演習	30	相馬 有里 教授 山本 徹 准教授 佐藤 亜紀子 准教授 野原 信 准教授 原田 円 講師 廣瀬 綾奈 講師 重森 知奈 講師	専任

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ数	担当教員	
				氏名 職名	専任・兼任
専門 分野	選択必修分野	多職種連携論	15	芳野 純 准教授 下岡 隆之 准教授 高橋 寛子 准教授 鶴木 恵子 教授 原田 円 講師	兼任 専任
		卒業研究	集中	黒田 生子 教授 永井 知代子 教授 相馬 有里 教授 植田 恵 教授 野原 信 准教授 山本 徹 准教授 佐藤 亜紀子 准教授 重森 知奈 講師 原田 円 講師 廣瀬 綾奈 講師	専任

【自己評価 2-2】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成所指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成所指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインに従った臨床実習を実施している。	4
	養成所指導ガイドラインに従った臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成所指導ガイドラインに従った臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成所指導ガイドラインに従った臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記載。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
見学実習（集団）	2年前期	フレッシュセミナーⅡA	2年前期
		フレッシュセミナーⅡB	2年後期
		聴覚障害演習	2年後期
		失語症・高次脳機能障害演習	2年後期
		言語発達障害演習	2年後期
		発声発語障害演習Ⅰ・Ⅱ	2年後期
見学実習（個別） 評価実習（臨床実習Ⅰ）	3年前期	発声発語障害演習Ⅲ・Ⅳ	3年前期
	3年後期	聴覚障害実習	3年通年
		失語症・高次脳機能障害実習	3年通年
総合実習（臨床実習Ⅱ）	4年通年	特別総合演習	4年通年
		言語聴覚研究Ⅰ演習	4年通年
		言語聴覚研究Ⅱ演習	4年通年
		言語聴覚研究Ⅲ演習	4年通年

【自己評価 3-3】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-4】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 3-5】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習の実施にあたっては、臨床実習施設との緊密な連携体制をもって、ハラスメントの予防に努めている。	4
	臨床実習の実施にあたっては、臨床実習施設との緊密な連携体制をもって、ハラスメントの予防におおむね努めている。	3
	臨床実習の実施にあたっては、臨床実習施設との緊密な連携体制をもって、ハラスメントの予防に十分に努められていない。	2
	臨床実習の実施にあたっては、臨床実習施設との緊密な連携体制をもって、ハラスメントの予防に努めていない。	1

【自己評価 4-1】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制を記載。

自己点検・評価組織名	帝京平成大学自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	委員長：沖永 寛子（学長） 学科からの委員：黒田 生子（学科長）、植田 恵 学科内の評価チーム：黒田 生子、植田 恵、佐藤 亜紀子、廣瀬 綾奈
組織の開催頻度	年度内に2乃至3回
組織の取り組み内容	大学レベルでの自己点検・評価の実施と結果の公表 学位プログラムレベル（学科・コース等）での本学教育評価基準に基づく自己点検・評価の実施 本学アセスメント指標となる学内データの収集とそれに基づく点検・評価 教育成果把握のための各種調査（学修行動と学修成果に関する調査、卒業生に対する調査、就職先企業等に対する調査等）の結果に基づく点検・評価
自己点検・評価結果の公表	大学ホームページでの公表 https://www.thu.ac.jp/aboutus/disclosure

【自己評価 4-2】 当てはまる自己評価欄に○を記載。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記載。

該当する 仕組み	名称	シラバス記載内容の点検
	委員構成等	各学科長、教務委員会構成員
	改善の仕組みの実際	本学シラバス作成要領に基づき、各教員がシラバスを執筆した後、教務委員会にて周知のうえ、学科長および教務委員が内容の点検を実施している。点検の結果、修正内容については報告書の提出を依頼し、提出された報告書をもとに修正内容を確認することで、シラバス内容の改善を図っている。

【自己評価 4-3】 自己点検、自己評価及びその評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記載。

- 毎年1回、学生に実施される学修行動調査アンケートの結果を分析し、学生の学習姿勢や学校生活上の課題や満足度を把握し、学生指導のあり方に反映させている。
- 前期、後期に実施される授業評価アンケートや、公開研究授業アンケートの結果に各教員が目を通し、自らの授業の難度設定や進行のスピード、学生指導のあり方等を検討し、その後の授業方法の改善に役立てている。
- 進路変更を行った学生の背景要因の分析から、どのような学生対応が学生の学業上のモチベーションの維持・向上に効果的であるかを把握し、セミナー授業での学生対応のあり方等に反映させている。